



塵芥車に最適なルート案内を
実現する

新明和工業は、輸送車両向け電装機器メーカー、レシップ（杉本眞社長、岐阜県本巣市）と廃芥車の「廃棄物収集業務効率化システム」を共同開発すると発表した。リアルタイムの稼働情報を基に、最適な運行経路などを案内して業務効率化を支援する。日報の自動作成など、作業者の負担を軽減する機能も盛り込む。2020年にも提供を開始し、30年までに5千台への導入を目指す。

**新明和工業
レシップ**

廃棄物収集を効率化 塵芥車の新システム開発

新開自動車自利曰

発行所
日刊自動車新聞社
〒105-0012
東京都港区芝大門1丁目10番11号
電話 東京(03)5777-2351代表
©日刊自動車新聞社2024

5月31日
(金曜日)

して、摩界車の位置情報や稼働・積載状況などをリアルタイムに収集。そのデータを基に、インに算出した最適なルートをド

ライバーに案内して、運行を効率化する。ルート案内では、収集場所や到着予定時刻に加え、通学時間や渋滞、危険地帯の回避を考慮した経路をナビゲーション画面に表示する。業務日報の自動作成メニューによるナース時期の通知機能も持つ。車両位置情報を住民や排出事業者に提供し、ゴミの

出し忘れ防止を図るサービスも利用できる。

塵芥車は通常、指定ルートを走行しながらゴミの収集作業を行うが、廃棄物の量や交通事情によっては、急なルート変更や車両の応援手配が必要なケースがある。ただ、これらは熟練者の経験に頼る屬人的な作業となっており、自

出し忘れ防止を図るサービスも利用できる。
塵芥車は通常、指定ルートを走行しながらゴミの収集作業を行なうが、廃棄物の量や交通事情によっては、急なルート変更や車両の応援手配が必要なケースがある。ただ、これらは熟練者の経験に頼る屬人的な作業となつており、自治体や事業者の多くが、未経験者でも適格な案内を可能にするツールを要望していた。このため、両社は新システムの開発に着手した。

日刊自動車新聞社が記事利用を許諾しています。